

令和4年度「先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金」  
「先進事業」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	廃食油焚ボイラシステム
型番	K-1000TY
会社名	株式会社 I H I 汎用ボイラ
本社所在地	東京都江東区深川2丁目8番19号
会社WEBページURL	<a href="http://www.ibk-ihl.co.jp/">http://www.ibk-ihl.co.jp/</a>
製品紹介ページURL	<a href="http://www.ibk-ihl.co.jp/products/boiler/k-series/waste-cooking_oil/index.html">http://www.ibk-ihl.co.jp/products/boiler/k-series/waste-cooking_oil/index.html</a>

製品についてのお問い合わせ先

連絡先	株式会社 I H I 汎用ボイラ 営業企画推進部 部長 栗野 弘敏 東京都江東区深川2丁目8番19号 TEL：03-5245-3130
-----	--

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	E. 製造業		
導入対象となる分野・プロセス	蒸気発生プロセス		
導入事例の省エネ量（原油換算：kl）	211	kl/年	
工場・事業場当たりの想定省エネ率	—	%	
設備・システム当たりの想定省エネ率	100.0	%	
導入事例における費用対効果（年間）	70.4	kl/千万円	
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）	30,000,000	円	
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用	1,000,000	円/年	

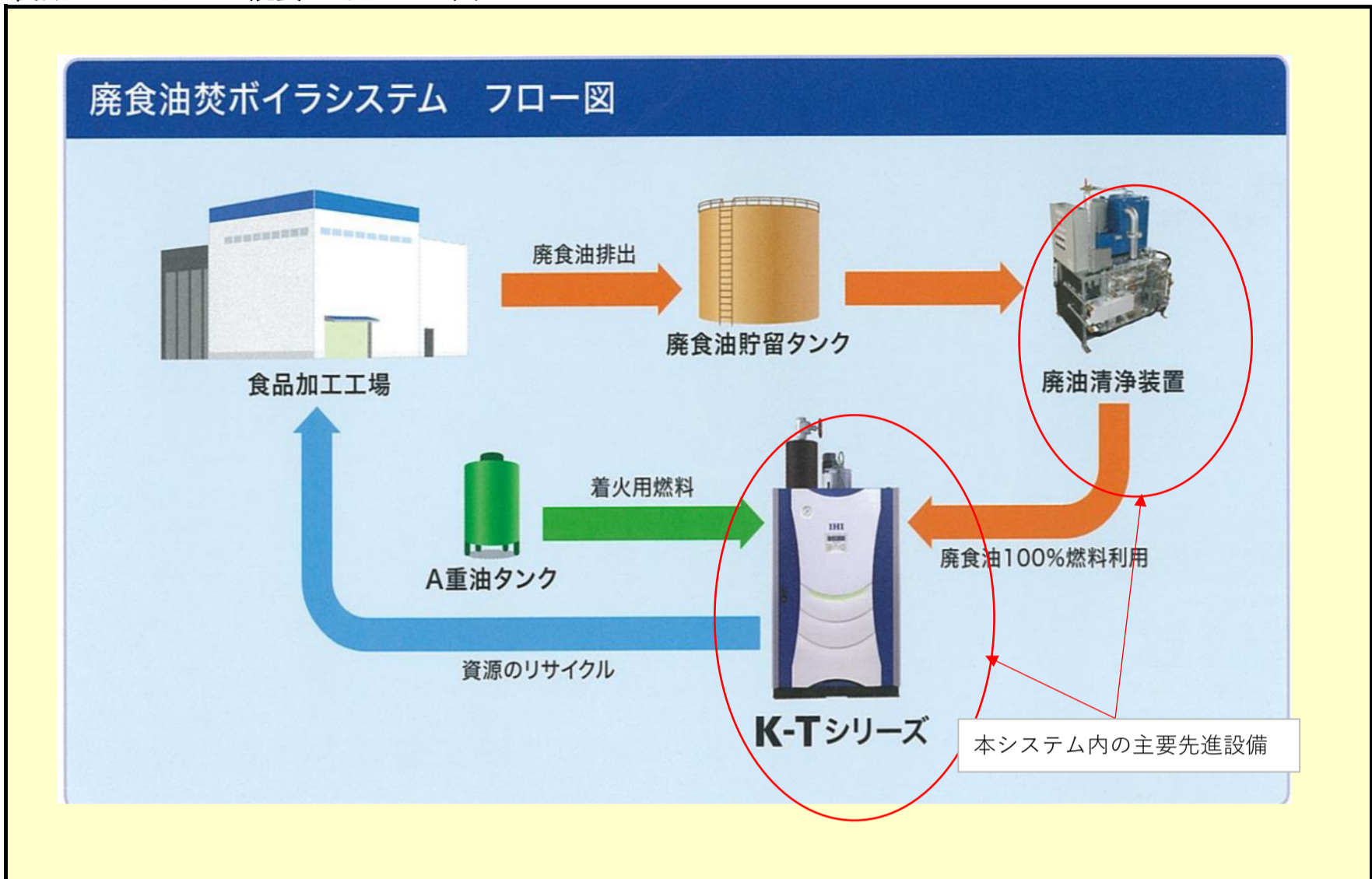
製品・システムの概要

<p>本ボイラシステムの主設備である廃食油焚ボイラは、従来の油焚小型貫流ボイラでは100%専焼が不可能であった重質動植物油を、独自のバーナを使用することにより100%専焼で油焚小型貫流ボイラの燃料として利用することが可能となりました。</p> <p>化石燃料を使用している既設ボイラを本システムに置き換えることにより、従来は飼料用等としてリサイクル、または廃棄されていた食品製造工場等で排出される重質動植物油を油焚小型貫流ボイラの専焼燃料として利用することが可能となり、化石燃料使用量を大幅に削減することを実現致します。</p>
--

先進性についての説明

<p>本ボイラシステムの廃食油焚ボイラに採用した独自バーナにより、重質動植物油とコンプレッサの高圧エアを同時に噴霧することで高引火点且つ高粘土の重質動植物油を燃焼可能レベルまで細分化することが可能です。</p> <p>さらに、独自改良を加えた高速遠心分離機を使用した廃油洗浄装置を採用することにより、重質動植物油に混入した残渣物の分離性能を向上させ、システムの安定運用を実現しました。</p> <p>これにより、従来は大型ボイラ設備等を保有する企業でしかボイラ用燃料として利活用できませんでしたが、中小規模の企業においてもメリットが得られるシステムとなっています。</p>
--

製品・システムの概要・イメージ図



導入事例の概要・イメージ図

業種・分野	食品製造業	対象設備・プロセス	蒸気ボイラ
<p>【導入イメージ図】</p> <p>導入実績が無い為、未記入。 ※但し実証実験実施済み。</p> <p>【ご参考】</p> <p>本システム販売開始に関するプレスリリース内容</p> <p><a href="https://www.ihico.jp/ihico/all_news/2019/industrial_general_machine/1190462_1593.html">https://www.ihico.jp/ihico/all_news/2019/industrial_general_machine/1190462_1593.html</a></p>			